市長のはにゅう大好きまち取材④

野川染織工業株式会社　様　（令和８年10月20日訪問）

世界に誇る日本の伝統文化の藍染め
羽生市は江戸時代から続く「藍染めのまち」であり、
剣道着の生産は日本一！
今日は創業１１２年
ノコギリ屋根でお馴染み、
須影地区の野川染織工業さんに市職員とともにお邪魔し、
糸、染め、織り、縫製と全ての過程を見学させていただきました。



羽生の藍染めの大きな特徴は青縞（あおじま）！
販売されている藍染めの多くは布を染めたものですが、
野川染織さんでは天然発酵の藍で糸を染めてから織る「青縞」の生地が大きな特徴です。
そうすることで抗菌や防虫、解毒といった藍染めの効能は大きくなり、
またストールやシャツだけでなく、シーツなどの大きな製品を作り出すことことができるんです。



発酵の特徴的な匂いのする工房で
白い糸がだんだん藍色に染まっていく光景は歴史の積み重ねを感じるはっと息をのむ美しさです。
織り機で刺子や平織り、ダイヤ柄の生地が作られ、
その生地を職人さんたちが剣道着やシーツに仕立てていく
しかし青縞の生地は
なんと1日中機織り機を動かしても
30メートル（剣道着の袴なら10着分）の長さしか作れないそうです。







現在のファーストな社会と対極にある、
歴史と自然と
先人たちの経験と技術によって繋がってきた
藍染め、そして青縞は
羽生にとって大切な大切な財産です。

ありがとうございました。

令和8年10月20日
斎藤　万紀子